



2, 4, 6, -トリプロモフェノール  
の細菌を用いる  
復帰突然変異試験

厚生省生活衛生局 委託

財団法人食品薬品安全センター

秦野研究所

【目 次】

	頁
要 約 .....	1
緒 言 .....	2
材料および方法 .....	3
結果および考察 .....	6
結 論 .....	7
特 記 事 項 .....	7
文 献 .....	7
Tables 1~3	

## 【要 約】

2,4,6-トリブロモフェノールの変異原性の有無を、細菌を用いる復帰突然変異試験により検討し、陰性の結果を得た。

検定菌として、*Salmonella typhimurium* TA100、TA1535、TA98、TA1537 および *Escherichia coli* WP2 *uvrA* の5菌株を用い、S9 mix 無添加および添加の条件でプレインキュベーション法により用量設定試験および2回の本試験を行った。用量設定試験を50.0~5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  の用量で行ったところ、いずれの検定菌においても、S9 mix 無添加試験および添加試験とも抗菌性が認められた。この結果に基づいて、本試験では最高用量を S9 mix 無添加試験では、TA100、TA1535 および TA98 は 500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、TA1537 は 1000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、WP2 *uvrA* は 5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  とし、S9 mix 添加試験では TA100、TA1535 および TA1537 は 500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、TA98 は 1000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、WP2 *uvrA* は 5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  として公比2で6用量を設定して実施した。

その結果、用いた5種類の検定菌のいずれの用量においても、溶媒対照値の2倍以上となる変異コロニー数の増加は認められなかったことから、2,4,6-トリブロモフェノールは、用いた試験系において変異原性を有しないもの（陰性）と判定した。

## 【結 言】

既存化学物質安全性点検に係る毒性調査事業の一環として、2,4,6-トリブロモフェノールについて、細菌を用いる復帰突然変異試験をプレインキュベーション法<sup>1)</sup>により実施した。

この試験は、サルモネラ菌（ネズミチフス菌）におけるヒスチジン要求性から非要求性への復帰突然変異<sup>2)</sup>、ならびに大腸菌におけるトリプトファン要求性から非要求性への復帰突然変異<sup>3)</sup>を指標とした変異原性の検出系である。

試験は、被験物質をそのまま検定菌に作用させる S9 mix 無添加試験と、哺乳動物のもつ薬物代謝酵素によって産生される被験物質の代謝物の変異原性を試験する S9 mix 添加試験とからなっている。

本試験は、「新規化学物質等に係る試験の方法について」（昭和62年3月31日、環保業第237号、薬発第306号、62基局第303号、一部改正平成9年10月31日、環保安第287号、衛生第127号、平成09・10・31基局第2号）および「OECD毒性試験ガイドライン：471」に準拠し、「化学物質GLP基準」（昭和59年3月31日、環保業第39号、薬発第229号、59基局第85号、改訂昭和63年11月18日、環企研第233号、衛生第38号、63基局第823号）に基づいて実施した。

## 【材料および方法】

### 〔検 定 菌〕

*Salmonella typhimurium* TA100  
*Salmonella typhimurium* TA1535  
*Escherichia coli* WP2 *uvrA*  
*Salmonella typhimurium* TA98  
*Salmonella typhimurium* TA1537

*S. typhimurium* の4菌株は1997年8月7日に、*E. coli* WP2 *uvrA* 株は1997年4月9日に から分与された。

検定菌は $-80^{\circ}\text{C}$ 以下で凍結保存したものを用いた。各菌株の凍結保存菌の調製時に、アミノ酸要求性、UV感受性、膜変異 (*rfa*) およびアンピシリン耐性因子 pKM 101 (プラスミド) の有無について調べ、特性が維持されていることを確認した。

試験に際して、ニュートリエントブロスNo.2 (Oxoid Ltd.) を入れたL字型試験管に解凍した菌液を一定量加え、 $37^{\circ}\text{C}$ で10時間往復振とう培養したものを検定菌液とした。試験に用いた検定菌液の生菌数を Appendix 1 に示した。

### 〔被 験 物 質〕

2,4,6-トリブロモフェノール (略称: T B P、CAS No. 118-79-6) は、分子量 330.82 の白色フレーク状の粉末である。構造式等は Appendix 2 に示した。用いた被験物質は、ロット番号 純度 99.8wt% (不純物: 不明) であり、 から供与された。被験物質は、使用時まで密栓、遮光して冷蔵した。

T B P は、ジメチルスルホキシド (DMSO、ロット番号: TPJ5678、和光純薬工業(株)) に溶解して最高濃度の調製液を調製した後、同溶媒で順次希釈して速やかに試験に用いた。

### 〔陽性対照物質〕

用いた陽性対照物質およびその溶媒は以下のとおりである。

AF2 : 2-(2-フリル)-3-(5-ニトロ-2-フリル)アクリルアミド  
(和光純薬工業(株) ロット番号 WTQ0059, 純度98%以上)  
SA : アジ化ナトリウム (和光純薬工業(株) ロット番号 DLL3931, 純度98%以上)  
9AA : 9-アミノアクリン (Sigma Chem. Co. ロット番号 106F06681, 純度97%以上)  
2AA : 2-アミノアントラセン (和光純薬工業(株) ロット番号 DLH6052, 純度90%以上)

AF2、9AA および 2AA は DMSO に、SA は超純水に溶解したものを $-20^{\circ}\text{C}$ で凍結保存し、解凍後速やかに試験に用いた。

[培地および S9 mix の組成]

1) トップアガー (TA菌株用)

下記の水溶液 (A) および (B) を容量比 10:1 の割合で混合した。

(A) バクトアガー (Difco Lab.)	0.6 %	(B)* L-ヒスチジン	0.5 mM
塩化ナトリウム	0.5 %	D-ビオチン	0.5 mM

\* : WP2 *uvrA* 用には、0.5 mM L-トリプトファン水溶液を用いた。

2) 合成培地

培地は、極東製薬工業(株)製の最少グルコース寒天培地 (ロット番号: HY2802、1997年10月16日製造、および HY2901、1997年11月21日製造) を用いた。なお、培地 1 L あたりの組成は下記のとおりである。

硫酸マグネシウム・7水和物	0.2 g	水酸化ナトリウム	0.66 g
クエン酸・1水和物	2 g	グルコース	20 g
リン酸水素二カルシウム	10 g	大洋寒天 (清水食品)	15 g
リン酸一アンモニウム	1.92 g		

径 90 mm のシャーレ 1 枚あたり 30 mL を流して固めたものである。

3) S9 mix (1 mL 中下記の成分を含む)

S9**	0.1 mL	NADH	4 $\mu$ mol
塩化マグネシウム	8 $\mu$ mol	NADPH	4 $\mu$ mol
塩化カルシウム	33 $\mu$ mol	ナトリウム-リン酸緩衝液 (pH 7.4)	100 $\mu$ mol
グルコース-6-リン酸	5 $\mu$ mol		

\*\* : 7週齢の Sprague-Dawley 系雄ラットにフェノバルビタール(PB)および 5,6-ベンゾフラボン(BF)の併用投与を行い、酵素誘導して作製したS9 (キッコーマン(株)、ロット番号: RAA-370、1997年10月3日製造および RAA-376、1998年1月23日製造) を購入し、-80°Cで凍結保存し、用時に解凍して用いた。PB および BF の投与量は 1日目 PB 30 mg/kg、2日目 PB 60 mg/kg、3日目 PB 60 mg/kg および BF 80 mg/kg、4日目 PB 60 mg/kg で、いずれも腹腔内投与したものである。肝臓の摘出および S9 の調製は5日目。

#### 〔試験方法〕

プレインキュベーション法により、S9 mix 無添加試験および S9 mix 添加試験を行った。小試験管中に、被験物質調製液 0.1 mL、リン酸緩衝液 0.5 mL (S9 mix 添加試験においては S9 mix 0.5 mL)、検定菌液 0.1 mL を混合し、37°Cで20分間プレインキュベーションしたのち、トッパアガー 2 mL を加えて混和し、合成培地平板上に流して固めた。また、対照群として被験物質調製液の代わりに使用溶媒または陽性対照物質溶液を用いた。各検定菌ごとの陽性対照物質の名称および用量は各Table中に示した。同時に実施した試験については、溶媒および陽性対照群を共通とした。培養は37°Cで48時間行い、発生した変異コロニー数を目視またはコロニーカウンターを用いて算定した。抗菌性の有無については、肉眼的あるいは実体顕微鏡下で、寒天表面の菌膜の状態から判断した。用いた平板は用量設定試験においては、溶媒および陽性対照群では3枚ずつ、各用量については1枚ずつとした。また、本試験においては、両対照群および各用量につき、3枚ずつを用い、それぞれその平均値と標準偏差を求めた。用量設定試験は1回、本試験は同一用量について2回実施し、結果の再現性の確認を行った。また、最高用量の被験物質 0.1 mL および S9 mix 0.5 mL を、それぞれ最少グルコース寒天培地上に滴下して、培養終了時に雑菌の混入の有無を調べた。

#### 〔判定基準〕

結果の判定に統計学的手法は用いないこととした。

用いた5種の検定菌のうち、1種以上の検定菌の S9 mix 無添加試験あるいは S9 mix 添加試験において、被験物質を含有する平板上における変異コロニー数の平均値が、溶媒対照値の2倍以上に増加し、その増加に再現性および用量依存性が認められた場合に、当該被験物質は本試験系において変異原性を有する（陽性）と判定することとした。

## 【結果および考察】

### 〔用量設定試験〕

TBPについて 50.0~5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  の範囲で公比を約3として、試験を実施した (Table 1)。その結果、S9 mix 無添加試験では TA100、TA1535 および TA98 で 500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  以上、TA1537 で 1500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  以上、WP2 *uvrA* で 5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  の用量で抗菌性が認められた。また、S9 mix 添加試験では TA100、TA1535 および TA1537 で 500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  以上、TA98 で 1500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  以上、WP2 *uvrA* で 5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  の用量で抗菌性が認められた。

これらの結果から、本試験における最高用量は、S9 mix 無添加試験では TA100、TA1535 および TA98 は 500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、TA1537 は 1000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、WP2 *uvrA* は 5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  とし、S9 mix 添加試験では TA100、TA1535 および TA1537 は 500  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、TA98は 1000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$ 、WP2 *uvrA* は 5000  $\mu\text{g}/\text{プレート}$  とした。

### 〔本試験〕

S9 mix 無添加試験および添加試験のいずれにおいても、上記の最高用量に基づいて公比2で6用量を設定して2回の本試験を実施した (Table 2、3)。その結果、すべての検定菌において、2回の試験とも溶媒対照値の2倍以上となる変異コロニー数の増加は認められず、陰性であった。

一方、TBPは当研究所で本試験と並行して実施されたチャイニーズ・ハムスター培養細胞を用いる染色体異常試験では、S9 mix 非存在下および存在下で染色体の構造異常が誘発され陽性であった (食薬セ研第9-1940号)。また、TBPの類縁化合物の1,4-ジプロモベンゼンでは、チャイニーズ・ハムスター培養細胞を用いる染色体異常試験で陽性、細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性の結果が得られている。

TBPについて実施したすべての試験において、用いた最高用量の調製液および S9 mix への雑菌の混入は認められなかった。また、陽性対照試験では、いずれの検定菌においても陽性対照物質の変異原性が検出され、溶媒対照値とともに計測された変異コロニー数はヒストリカルコントロール値の範囲内であったことから、本試験系の有効性が確認された。

## 【結 論】

以上の結果に基づき、2,4,6-トリブロモフェノールは、用いた試験系において変異原性を有しないもの（陰性）と判定した。

## 【特 記 事 項】

試験の全過程を通して、試験の信頼性に影響を及ぼすおそれのある予期し得なかった事態、および試験計画書からの逸脱はなかった。

## 【文 献】

- 1) Matsushima, T., Sugimura, T., Nagao, M., Yahagi, T., Shirai, A., Sawamura, M.: in "Short-Term Test Systems for Detecting Carcinogens" Norpoth, K.H., Garner, R.C. eds. Springer, Berlin-Heidelberg-New York (1980) pp. 273-285
- 2) Maron, D.M., Ames, B.N.: Mutation Research 113: 173-215 (1983)
- 3) Venitt, S., Crofton-Sleigh, C.: in "Evaluation of Short-Term Tests for Carcinogens" de Serres, F.J., Ashby, J. eds, Elsevier/North-Holland, New York (1981) pp. 351-360
- 4) 厚生省生活衛生局企画課生活化学安全対策室 監修：「化学物質毒性試験報告」、化学物質点検推進委員会 編集・発行, Vol.2 (1995) pp. 353-370

Table 1. Cytotoxicity of 2,4,6-tribromophenol on bacteria

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose ( $\mu\text{g}$ /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean $\pm$ S.D.)															
		Base - pair substitution type									Frameshift type						
		TA100			TA1535			WP2 <i>uvrA</i>			TA98			TA1537			
S9 mix (-)	0	148	150	124	9	12	9	26	25	12	16	14	24	7	10	6	
		( 141 $\pm$ 14.5 )			( 10 $\pm$ 1.7 )			( 21 $\pm$ 7.8 )			( 18 $\pm$ 5.3 )			( 8 $\pm$ 2.1 )			
	50.0	175			9			23			19			7			
	150	166			15			21			16			3			
	500	0 *			0 *			34			6 *			3			
	1500	0 *			0 *			11			0 *			0 *			
	5000	0 *			0 *			0 *			0 *			0 *			
S9 mix (+)	0	169	172	144	17	12	14	25	25	19	25	30	35	8	5	7	
		( 162 $\pm$ 15.4 )			( 14 $\pm$ 2.5 )			( 23 $\pm$ 3.5 )			( 30 $\pm$ 5.0 )			( 7 $\pm$ 1.5 )			
	50.0	189			18			23			40			13			
	150	164			12			28			20			5			
	500	0 *			0 *			22			13			0 *			
	1500	0 *			0 *			17			0 *			0 *			
	5000	0 *			0 *			0 *			0 *			0 *			
Positive control	Chemical	AF2			SA			AF2			AF2			9AA			
	Dose ( $\mu\text{g}$ /plate)	0.01			0.5			0.01			0.1			80			
S9 mix (-)	Number of colonies / plate	647	674	640	621	643	603	200	196	204	620	619	608	415	410	359	
		( 654 $\pm$ 18.0 )			( 622 $\pm$ 20.0 )			( 200 $\pm$ 4.0 )			( 616 $\pm$ 6.7 )			( 395 $\pm$ 31.0 )			
Positive control	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA			2AA			
	Dose ( $\mu\text{g}$ /plate)	1			2			10			0.5			2			
S9 mix (+)	Number of colonies / plate	999	1127	1090	423	401	350	769	810	736	508	498	536	345	403	369	
		( 1072 $\pm$ 65.9 )			( 391 $\pm$ 37.4 )			( 772 $\pm$ 37.1 )			( 514 $\pm$ 19.7 )			( 372 $\pm$ 29.1 )			

Purity was 99.8wt%.

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

\*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Table 2-1. Mutagenicity of 2,4,6-tribromophenol on bacteria (I)

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose ( $\mu\text{g}$ /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean $\pm$ S.D.)															
		Base - pair substitution type						Frameshift type									
		TA100			TA1535			TA98			TA1537						
S9 mix (-)	0	136	130	128	16	9	18	20	25	21	17	7	7	( 131 $\pm$ 4.2 )	( 14 $\pm$ 4.7 )	( 22 $\pm$ 2.6 )	( 10 $\pm$ 5.8 )
	15.6	105	132	129	7	9	8	18	14	26	ND			( 122 $\pm$ 14.8 )	( 8 $\pm$ 1.0 )	( 19 $\pm$ 6.1 )	
	31.3	132	126	166	13	11	10	19	13	29	8	3	6	( 141 $\pm$ 21.6 )	( 11 $\pm$ 1.5 )	( 20 $\pm$ 8.1 )	( 6 $\pm$ 2.5 )
	62.5	157	115	125	12	11	9	17	23	25	4	5	6	( 132 $\pm$ 21.9 )	( 11 $\pm$ 1.5 )	( 22 $\pm$ 4.2 )	( 5 $\pm$ 1.0 )
	125	136	146	133	11	18	12	19	13	21	3	12	6	( 138 $\pm$ 6.8 )	( 14 $\pm$ 3.8 )	( 18 $\pm$ 4.2 )	( 7 $\pm$ 4.6 )
	250	118	108	102	13	14	10	14	13	17	3	3	2	( 109 $\pm$ 8.1 )	( 12 $\pm$ 2.1 )	( 15 $\pm$ 2.1 )	( 3 $\pm$ 0.6 )
	500	33 *	36 *	27 *	2 *	3 *	3 *	10 *	10 *	8 *	0 *	0 *	0 *	( 32 $\pm$ 4.6 )	( 3 $\pm$ 0.6 )	( 9 $\pm$ 1.2 )	( 0 $\pm$ 0.0 )
	1000	ND			ND			ND			0 * 0 * 0 *			( 0 $\pm$ 0.0 )			
S9 mix (+)	0	154	161	177	8	10	11	28	40	42	17	10	18	( 164 $\pm$ 11.8 )	( 10 $\pm$ 1.5 )	( 37 $\pm$ 7.6 )	( 15 $\pm$ 4.4 )
	15.6	177	160	156	9	7	8	ND			15	15	12	( 164 $\pm$ 11.2 )	( 8 $\pm$ 1.0 )		( 14 $\pm$ 1.7 )
	31.3	149	171	158	6	9	18	25	37	36	10	18	15	( 159 $\pm$ 11.1 )	( 11 $\pm$ 6.2 )	( 33 $\pm$ 6.7 )	( 14 $\pm$ 4.0 )
	62.5	176	170	181	10	6	14	21	29	35	13	10	8	( 176 $\pm$ 5.5 )	( 10 $\pm$ 4.0 )	( 28 $\pm$ 7.0 )	( 10 $\pm$ 2.5 )
	125	160	167	170	9	10	12	47	45	29	13	8	12	( 166 $\pm$ 5.1 )	( 10 $\pm$ 1.5 )	( 40 $\pm$ 9.9 )	( 11 $\pm$ 2.6 )
	250	135	140	153	9	9	12	22	23	20	5	2	7	( 143 $\pm$ 9.3 )	( 10 $\pm$ 1.7 )	( 22 $\pm$ 1.5 )	( 5 $\pm$ 2.5 )
	500	69 *	61 *	49 *	3 *	3 *	3 *	12	8	9	1 *	2 *	3 *	( 60 $\pm$ 10.1 )	( 3 $\pm$ 0.0 )	( 10 $\pm$ 2.1 )	( 2 $\pm$ 1.0 )
	1000	ND			ND			0 * 0 * 0 *			ND			( 0 $\pm$ 0.0 )			
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			9AA						
	Dose ( $\mu\text{g}$ /plate)	0.01			0.5			0.1			80						
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA						
	Dose ( $\mu\text{g}$ /plate)	1			2			0.5			2						
	Number of colonies / plate	522	507	480	554	512	577	518	562	563	401	350	380	( 503 $\pm$ 21.3 )	( 548 $\pm$ 33.0 )	( 548 $\pm$ 25.7 )	( 377 $\pm$ 25.6 )
	Number of colonies / plate	1241	1073	1020	526	387	397	549	515	570	357	394	365	( 1111 $\pm$ 115.4 )	( 437 $\pm$ 77.5 )	( 545 $\pm$ 27.8 )	( 372 $\pm$ 19.5 )

Purity was 99.8wt%.

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

\*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

ND : Not done

Table 2-2. Mutagenicity of 2,4,6-tribromophenol on bacteria (I)

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)					
		Base - pair substitution type					
				WP2 <i>uvrA</i>			
S9 mix (-)	0			26	28	16	
				( 23 ± 6.4 )			
	156			21	27	22	
				( 23 ± 3.2 )			
	313			24	22	28	
				( 25 ± 3.1 )			
	625			24	19	24	
				( 22 ± 2.9 )			
1250			8	15	18		
			( 14 ± 5.1 )				
2500			0 *	0 *	0 *		
			( 0 ± 0.0 )				
5000			0 *	0 *	0 *		
			( 0 ± 0.0 )				
S9 mix (+)	0			40	23	31	
				( 31 ± 8.5 )			
	156			27	46	40	
				( 38 ± 9.7 )			
	313			33	40	40	
				( 38 ± 4.0 )			
	625			31	26	26	
				( 28 ± 2.9 )			
1250			17	27	26		
			( 23 ± 5.5 )				
2500			0 *	0 *	0 *		
			( 0 ± 0.0 )				
5000			0 *	0 *	0 *		
			( 0 ± 0.0 )				
Positive control	Chemical			AF2			
	Dose (µg /plate)			0.01			
S9 mix (-)	Number of colonies / plate			170	171	175	
				( 172 ± 2.6 )			
Positive control	Chemical			2AA			
	Dose (µg /plate)			10			
S9 mix (+)	Number of colonies / plate			876	693	718	
				( 762 ± 99.2 )			

Purity was 99.8wt%.

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, 2AA: 2-Aminoanthracene

\*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

Table 3-1. Mutagenicity of 2,4,6-tribromophenol on bacteria ( II )

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose (µg /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean ± S.D.)												
		Base - pair substitution type						Frameshift type						
		TA100			TA1535			TA98			TA1537			
S9 mix (-)	0	155	155	138	12	13	16	18	18	19	16	7	10	
		( 149 ± 9.8 )			( 14 ± 2.1 )			( 18 ± 0.6 )			( 11 ± 4.6 )			
	15.6	181	104	155	15	12	4	32	16	24	ND			
		( 147 ± 39.2 )			( 10 ± 5.7 )			( 24 ± 8.0 )						
	31.3	150	124	128	14	11	11	22	23	20	7	5	4	
		( 134 ± 14.0 )			( 12 ± 1.7 )			( 22 ± 1.5 )			( 5 ± 1.5 )			
	62.5	150	133	124	14	12	12	16	20	17	4	9	5	
		( 136 ± 13.2 )			( 13 ± 1.2 )			( 18 ± 2.1 )			( 6 ± 2.6 )			
	125	138	112	115	11	12	11	16	22	11	6	8	7	
	( 122 ± 14.2 )			( 11 ± 0.6 )			( 16 ± 5.5 )			( 7 ± 1.0 )				
250	115	97	102	7	9	8	17	10	5	3	3	4		
	( 105 ± 9.3 )			( 8 ± 1.0 )			( 11 ± 6.0 )			( 3 ± 0.6 )				
500	28 *	26 *	7 *	1 *	1 *	3 *	5 *	8 *	3 *	1 *	1 *	0 *		
	( 20 ± 11.6 )			( 2 ± 1.2 )			( 5 ± 2.5 )			( 1 ± 0.6 )				
1000	ND			ND			ND			0 * 0 * 0 *				
										( 0 ± 0.0 )				
S9 mix (+)	0	130	158	170	11	8	14	40	30	26	15	20	13	
		( 153 ± 20.5 )			( 11 ± 3.0 )			( 32 ± 7.2 )			( 16 ± 3.6 )			
	15.6	152	154	190	14	13	18	ND			18	20	9	
		( 165 ± 21.4 )			( 15 ± 2.6 )						( 16 ± 5.9 )			
	31.3	174	165	181	9	11	15	32	34	40	16	9	11	
		( 173 ± 8.0 )			( 12 ± 3.1 )			( 35 ± 4.2 )			( 12 ± 3.6 )			
	62.5	199	190	204	11	14	9	27	38	24	12	10	15	
		( 198 ± 7.1 )			( 11 ± 2.5 )			( 30 ± 7.4 )			( 12 ± 2.5 )			
	125	192	179	184	7	12	11	31	22	33	11	10	11	
	( 185 ± 6.6 )			( 10 ± 2.6 )			( 29 ± 5.9 )			( 11 ± 0.6 )				
250	108	173	156	9	8	6	35	29	31	3	7	6		
	( 146 ± 33.7 )			( 8 ± 1.5 )			( 32 ± 3.1 )			( 5 ± 2.1 )				
500	124 *	70 *	63 *	2 *	1 *	1 *	9	13	6	3 *	4 *	6 *		
	( 86 ± 33.4 )			( 1 ± 0.6 )			( 9 ± 3.5 )			( 4 ± 1.5 )				
1000	ND			ND			0 * 0 * 0 *			ND				
							( 0 ± 0.0 )							
Positive control S9 mix (-)	Chemical	AF2			SA			AF2			9AA			
	Dose (µg /plate)	0.01			0.5			0.1			80			
Positive control S9 mix (+)	Chemical	2AA			2AA			2AA			2AA			
	Dose (µg /plate)	1			2			0.5			2			
Positive control S9 mix (+)	Number of colonies / plate	555	518	493	551	557	568	597	601	621	483	382	572	
		( 522 ± 31.2 )			( 559 ± 8.6 )			( 606 ± 12.9 )			( 479 ± 95.1 )			
Positive control S9 mix (+)	Number of colonies / plate	939	909	948	357	372	388	388	473	472	443	483	361	
		( 932 ± 20.4 )			( 372 ± 15.5 )			( 444 ± 48.8 )			( 429 ± 62.2 )			

Purity was 99.8wt%.

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, SA: Sodium azide, 9AA: 9-Aminoacridine, 2AA: 2-Aminoanthracene

\*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.

ND : Not done

Table 3-2. Mutagenicity of 2,4,6-tribromophenol on bacteria ( II )

With (+) or without (-) S9 mix	Test substance dose ( $\mu\text{g}$ /plate)	Number of revertants (number of colonies / plate, mean $\pm$ S.D.)					
		Base - pair substitution type					
				WP2 <i>uvrA</i>			
S9 mix (-)	0			25	25	29	( 26 $\pm$ 2.3 )
	156			21	29	27	( 26 $\pm$ 4.2 )
	313			17	24	23	( 21 $\pm$ 3.8 )
	625			24	19	18	( 20 $\pm$ 3.2 )
	1250			17	9	17	( 14 $\pm$ 4.6 )
	2500			0 *	0 *	0 *	( 0 $\pm$ 0.0 )
	5000			0 *	0 *	0 *	( 0 $\pm$ 0.0 )
S9 mix (+)	0			30	32	30	( 31 $\pm$ 1.2 )
	156			34	44	30	( 36 $\pm$ 7.2 )
	313			37	30	34	( 34 $\pm$ 3.5 )
	625			23	26	27	( 25 $\pm$ 2.1 )
	1250			12	26	26	( 21 $\pm$ 8.1 )
	2500			0 *	0 *	0 *	( 0 $\pm$ 0.0 )
	5000			0 *	0 *	0 *	( 0 $\pm$ 0.0 )
Positive control S9 mix (-)	Chemical			AF2			
	Dose ( $\mu\text{g}$ /plate)			0.01			
Positive control S9 mix (+)	Chemical			2AA			
	Dose ( $\mu\text{g}$ /plate)			10			
S9 mix (-)	Number of colonies / plate			166	203	159	( 176 $\pm$ 23.6 )
	Number of colonies / plate			675	652	609	( 645 $\pm$ 33.5 )

Purity was 99.8wt%.

AF2: 2-(2-Furyl)-3-(5-nitro-2-furyl)acrylamide, 2AA: 2-Aminoanthracene

\*: Inhibition was observed against growth of the bacteria.